JCI 社団法人 三原青年会議所新聞
やっさもっさ
2009年11月25日 Vol.374
三原JCビジョン 誇想創力
発行/社団法人 三原青年会議所
編集/総務・広報委員会
三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内
TEL (0848) 63-3515
FAX (0848) 62-1141
(社) 三原青年会議所公式サイト http://www.mihara-jc.com e-mail : info@mihara-jc.com 三原青年会議所 検索

10月31日(土)三原市立三原小学校グランドにて(社)三原青年会議所 まちづくり委員会(冨田伸博委員長)は、第6回三原浮城まつりの前夜祭として「みはらエバーラスティング ライト」を開催しました。この目的は「手作り廃油キャンドル」を3万個集め、同時に灯すことを通じて、市民のチカラを合わせることで大きな結果が出せるということを実感するというものでした。

開催に至るまで「みはらが変わる。みんなで変える。」を合言葉に、多くの市民が協力し、目標としていた3万個の手作り廃油キャンドルを開催当日に灯すことができました。そして、会場に集まった多くの市民は、3万個のキャンドルの灯の下、それぞれが揺らめく光を思い思いに眺め、幻想的な時間を共有しました。

10月31日！市民の力が集まった！

開催当日は好天にも恵まれ、約40名のボランティアスタッフにより三原小学校グランドに「WE♡MIHARA」の形に3万個を超えるキャンドルが並べられました。そして、午後5時30分からキャンドルへの点火が始まり約1時間後にすべてのキャンドルへの点火が終わると、会場の照明を落とすカウントダウンが始まりました。

カウントダウンの瞬間を迎える！

会場に集まった市民が一緒にカウントダウンを行いました。

「5・4・3・2・1・0！」

「きれいー」「すごいー」「やったー！」

照明が落ちた瞬間、集まった市民からは感嘆の声が響きました。

3万個の手作りキャンドルの作りだした灯は、普段味わえない雰囲気を生み出しました。そこに集う市民の一体感。その灯に込められた市民の想い。自分たちの作ったキャンドルが作り上げた大きなチカラ。そして、ゆったりとした時間が流れてゆきました。

それぞれの想い。伝わる想い。

開催当日、会場にはのべ3000人の市民が集まりました。三原で初めての大規模なキャンドルのイベントとなる「みはらエバーラスティング ライト」は、多くの人の記憶に残る夜になったのではないでしょうか。また、多くの親子連れの姿がありました。子どもたちにとって、このような体験は大人になったときに素晴らしい思い出として語られることでしょう。そういった故郷での思い出が多く残ることが、きっと未来の「みはらのチカラ」になってゆくと思います。

※現在ギネスブックに記録を申請中です。